

松江体協会報

第 2 号
48.1.15

題字は齋藤会長



創立五十年を迎えて

松江体育協会長 齋藤 強

皆さん明けましてお目出と
うございます。協会役員・加
盟団体会員各位には、ますま
すご健勝にて希望に満ち溢れ
る新年をお迎えになりました

ことを、まずもって心からお慶び申し上げます。

松江体育協会の結成は大正13年5月1日にさかのぼりますが、今年で丁度光輝ある50年目を迎えることになりました。

その間、松江はおろか島根・鳥取両県スポーツ界にとって、陸上部門をはじめ各分野に指導的な役割を果し、輝かしい功績を残してきたことはあまわく知られていくところでありました。

かかる伝統ある松江体協であります。その組織・運営も時代の流れをとり入れて、昭和45年の暮れに改組に踏み切り、46年度から“全市民総体育”を目指して出発いたしました。

そして役員任期を2カ年と定め新役員を選出し、総務・財務・競技・広報・施設・国体の6部門に亘る専門委員会を設け本会の業務を分担運営してまいりました。

第1年度の46年度は、逐次新しい競技種目の組織固めを行い、旧体制下の45年度に市費助成を受けていた競技団体は僅かに11団体に過ぎなかったものを一躍29団体にまで増加育成し、市から体協への助成金も45年度の20万円から46年度は120万円に増額してもらいました。

更に第2年目を迎えて47年度には加盟団体の基盤も漸く固まる一方、新たにライフル射撃協会・オリエンテーリング協会の加入をみましたが、地域・職域・スポーツ少年団など市内のあらゆるスポーツ関係のものをさん下に入れて現在32部門を数え、市の助成金も200万円に増額になりました。

このようにして体協の活動が活発になるにつれ松江市民のスポーツに親しむ機会も、だんだん幅広いものになりつつありますことは欣快に堪えません。

さて我々体協人のみならず県民多年の関心事となつて島根県への国民体育大会誘致問題も、昨年11月25日西部ブロック県体協会会長会議において、57年開催のことに内定をみるに至りました。

それまでは主会場争いに端を発した県内体勢の不統一、挙県の推進体勢の立遅れなど、心あるものをして島根国体おぼつかなくと歎げさせるようになり、もたつく間に名乗りをあげた54年は宮崎県に先きを越される始末になりました。

松江は先きに知事が主会場争いの激化を憂慮されて、これらの争いごとを即時停止せよと要請されたのに答え、いさぎよく一切の運動を停止し、純真な立場でひたすら国体誘致の早期実現をねがってきたのでありました。

開催年が一期遅れはしたものの開催ときまれば県都松江市として為すべきことからは山ほどあります。

ねがわくば、この春頃までには主会場はもとより各種目別の開催地を決定してもらい、島根国体を速やかに軌道に乗せねばなりません。

松江市としての受入希望種目については、県へ申出てはありますが最終的な決定までには、いろいろ問題がありそうですので、何れ種目の正式決定と相まって松江体協としての対策も協議していかねばなりません。

これまで施設面では市で工事をすすめている乃木の総合グラウンドの年次計画に基づく工事と、今年いよいよ市立体育館の建設が始まります。

市立体育館については勿論国体の際、何かの会場に使われるようになるでしょうが、国体のためのものではなく、市民の誰でもが常時、絶え間なく活用し、健康・体力づくりに大いに役立つものであるようにとの市の構想でありますだけに、総工費6億5千万円の巨費を投じ、利用する側の意見も充分くんで設計施工されるものであります。

そうした意味におきましても市当局では、市民の皆さんから善意に基づく暖かい建設資金のご寄附も仰ぎたいとの考えでありますので、この点ご諒承いただき体協としても本腰で取り組まねばなりません。加盟団体各位には格別のご協力を賜りますようお願い申し上げる次第であります。

国体開催の内定に伴ない、県・市スポーツ界も今年是一段と活発な盛り上りを見せることであります。新年早々にはバレーボール日本リーグ、8月には全日本教員バスケットボール、秋には高松宮賜杯全国軟式野球大会など全国的な大会が今後相次いで松江市で開催されますので、これらのしげきを受けて市民の間にスポーツ人口がますます増大し、体協の基盤も一層充実して強固になり、一方57年国体を目指しての指導者の養成や優秀選手の育成と素材の発掘など、関係各位には、この上ながらのご努力をおねがいし、島根国体開催のリーダー的役割を受持つ松江市としての地歩を今年こそ軌道に乗せていただきたいと念願してやみません。

年頭にあたり所懐の一端を述べまして今年の羅進を皆さんと共に誓い合いたいと思います。

体育スポーツ昭和48年度の課題

松江市教育委員会体育課長（体協事務局長）

吉 岡 弘

昨年4月体育課長を拝命し、そして全日本体育界に輝やしき伝統と、偉大なる成果を納めつつある松江体育協会の事務局長に就任の榮を得ていよいよその職責の重大さを脳裡に、渾身の努力をしなければと堅く誓いを立てているものであります。

最近よく国民の体位は向上しているが、体力は低下の傾向にあると言われますが、このことは食生活の改善、社会生活の面に見る大きな変動とは言いながら、自らが行う体育スポーツでなく見る、聞く体育スポーツの増加に起因するものであり、「国造りは人づくりから」と言われ、強健にして善良なる身心を有する人づくりは体育、スポーツを自ら実践して涵養しなければならぬと考えます。かねて斎藤市長が提唱されています12万市民総体育の実践に課員10名心して研鑽努力するものであります。そして昭和48年度の体育重点施策を次のとおり考えておりますので体協役員の方、又広く会員の皆様の深い理解とご指導、ご後援をお願い申し上げます。

◎先ず学校体育と社会体育の協調、融和のもとに市民総体育の実現を計り、もって心身ともに健康で文化的な市民の育成を期する。

(1) 学校体育

1. 指導要領に基く「第3体育」の具現
2. 体育指導者の指導力の向上
3. スポーツクラブの育成強化
4. 体育教材の充実

(2) 社会体育

1. スポーツ教室、学校開放事業の推進
2. 市民体育祭、市民総体育の拡充推進

3. 松江体育協会の強化育成

(3) 体育施設の整備、促進

1. 松江市立体育館の建設

⊕ 市内西川津町字中島（市営野球場南側）へ建設費6億5千万円で48年8月着工。50年2月竣工。総敷地面積約1.7ha。体育館面積8,700㎡の鉄筋3階建（1階管理部門、2階競技場、3階観覧席2,000席）暖冷房と言う中国一のスポーツの殿堂であります。この理想的体育館建設費に充当すべく1億円を募金目標に広く皆さんより浄財の寄附をお願いいたしますので、格別のご協力をお願い申し上げます。

2. 既設運動場の管理、運営と整備

⊕ 5月31日で第2種公認切れとなる松江陸上競技場のトラック、フィールド等の整備と競技器材の充実を計って継続公認を得ると共に野球場、庭球場の整備を行う。

3. 松江総合運動公園建設の促進。

以上3つを大きい柱として取組みたいと考えますが、特に48年度は第17回高松宮賜杯全日本軟式野球大会（9月予定）全日本教員バスケットボール選手権大会外2種目の全国的大会を始めとして中国5県対抗陸上競技大会外6団体の中国大会の開催等、大規模な大会の外各種県大会の開催と愈々充実発展にある各種の市民大会等非常に多くの競技大会を控えているのであります。これまた体協の皆さん方格別のご協力、ご後援をお願い申し上げます。

昭和46年度功績に対し岸記念賞授与

① 松江市卓球連盟

矢田登志豊 昭和15年2月11日生

松江市東津田町東光台

松江市立白濁小学校教諭

- 47年度松江市卓球連盟常任理事
昭和42年以来5年間に亘り、松江市卓球連盟事務局長を勤め弱体化していた組織の立て直しに非常な功績を残した。またこの間選手として指導員として十分な活躍をした。
- ② 松江八東地区射撃協会
三島 長 大正15年8月26日生
松江市中原町146 商業自営
松江八東地区射撃協会委員
昭和46年度射撃大会において模範とするに足る最優秀の成績を収めた。
- ③ 松江市相撲連盟
吉岡 弘 大正14年6月23日生
松江市上佐陀町201
松江市教育委員会勤務
松江市相撲連盟常務理事
昭和32年松江市相撲連盟結成以来理事長として、また昭和32年から昭和38年まで県相撲連盟常務理事(事務局長)として、アマチュア相撲の興隆に尽し、特に少年相撲、青年相撲の復活に努力した。
- ④ 松江市水泳連盟
梶谷 節夫 大正12年2月3日生
松江市長江町61
御手船場町 (有)ホテル藏王(自営)
松江水泳連盟理事長
昭和38年松江水泳連盟結成以来、事務局長常務理事及び理事長として松江市民水泳競技大会他四大会の開催運営を軌道にのせ、昭和45年度に島根スイミングスクールの結成に尽力し、松江地区の幼児の初心者指導及び選手の育成に努力し、水泳人口増加をはかり底辺の拡大に努めた。
- ⑤ 松江陸上競技協会
松江陸協長距離チーム
監督荒木英昭、千原正男 選手15名
46年度島根県島郡市対抗ロードレースに優勝。個人としても年間を通じ各大会に活躍し、優秀な成績を残した。
- ⑥ 松江地区柔道連盟
山下 義明 大正8年7月28日生
松江市西津田町1139
島根県立松江工業高校教諭
昭和25年松江地区柔道連盟発足と同時に理事長となり、柔道の普及発展はもとより県連盟の母体としての地区連盟の組織づくり、幾多の優秀選手の育成、斯道の振興に寄与した功績はまことに顕著なものがあつた。

昭和47年度功績に対し松江体育協会会長表彰

1. 松江陸上競技協会四氏
福田 正義
長年にわたり陸上競技を愛好し、その振興につとめ、特に組織の育成や跳躍競技を中心とした陸上競技の発展策を講じ常に積適的に活動し、その功績顕著なものがあつた。
吉野 安久
夙に陸上競技の振興に腐心し努力を続け、特に松江陸協の再建についてその中心となり、功見るべきものがあつた。また県陸上競技進展についても常に協力を惜しまず、功績顕著なものがあつた。
- 伊藤 操
長年にわたり陸上競技振興のために尽し、特に各種大会運営には地味な役を受けもち、黙々としてその任務の遂行に努力され、為に本市は勿論、全県的な大会には存在の大なるものがある。
桑谷 仲治
各種競技会に万難を排し、積極的に出席大会運営に貢献し、特に18回を数ぞえる松江市駅伝には初回以来欠かさず競技役員として大会を盛りあげ、その献身的な努力は他の模範とするに足るものがあつた。
2. 松江・八東射撃協会

井上 庠
 多年にわたり松江体協の役員として、又、
 射撃協会結成以来その会長として、射撃

場の新設、射撃人口の増加、選手の育成
 指導等に多大な業績を残してきたが今回
 会長を勇退されたので表彰する。

会 務 報 告

昨年1月15日新年賀会当日、会報第1号を
 発行し、来会者に配布し、加盟団体をはじめ
 各方面にもその配布をしたが、今年も賀会に
 第2号を発行配布することとし、この一年間
 の会務報告をまとめて掲載しました。

(理事長 和田正則)

47. 1. 15

松江体育協会恒例の新年賀会を午後3時か
 らレークガーデン大広間で開催、参加者は年
 々多くなり今年は 240名を数える。

先づ齋藤会長（市長）の年頭の挨拶に始ま
 り、来賓として福島市議会議長と岡田県体協
 理事長から祝辞が述べられたのち、昨年体育
 功労者として表彰の佐次智程（文部大臣表彰）
 秋本盛一（県知事表彰）金山千（県知事表彰）
 の三氏に対し和田理事長から功績を讃えての

紹介に続いて齋藤会長から三氏に祝品を贈呈。
 続いて各加盟団体よりあらかじめ書面提出の
 あった協議題について提案者からの要旨説明
 があり、中でも市当局への要望事項に対して
 は門協副会長（市助役）岡副会長（市教育長）
 河原事務局長（社会教育課長兼体育課長）か
 ら、それぞれの立場においての答弁がなされ
 た。

議事を終えて祝宴にうつり、一同健康を祝
 し合い盃を重ねるうちに会員の余興も続出、
 何時はてるともないこの賀会も5時半すぎ、
 万才三唱して閉会。

なお当日の要望事項は次の通りであったが
 その後○印については着々と実施の方向に進
 展し、その殆んどが実を結びつつあるのは喜
 ばしい次第である。

協議題としてあらかじめ各種目別団体から提出された要望事項

陸 上	○公認期限（48年5月）満了に伴う競技場存置問題
水 泳	○市民プール（温水）早期建設と冬季練習場の確保
剣道（その他）	54年島根国体を目指し少年期からの強化指導が必要
軟 式 庭 球	城山テニスコートの存置使用、武徳殿前荒地の活用
相 撲	○市内小、中学校全校に土俵設置
硬式庭球ほか	指導者（教員）の獲得及び適正配置
洋 弓	○専用射場の建設（現在県立武道館弓場を弓道併用）
野 球、ソフト サッカー	市民広場の設置 ○軟式野球48年度高松宮杯全国軟式野球大会の誘致
体 操	○市立体育館の早期建設
竹矢公民館ほか	○54年国体を目指し社会体育の基盤づくり 競技場の整備、指導者組織体制の強化、選手育成の社会環境整備
スポーツ少年団	○学校開放事業（46年度3校）を全市に拡充
職場体育連盟	○勤労青少年のための体育施設
ヨット、漕 艇	艇 庫 設 置
各 連 盟	○事業助成のための市補助金増額

片山義雄氏から動議が出され、乃木に建設される総合運動場に岸清一博士のスポーツ界への多大の功績を贅える意味で岸運動場と名付けるように発言あり、市長より市独自で決定できない問題であるが充分承っておくとの答がなされた。

5.24

47年度第1回常務理事会を市立青年センターで開催。第1回理事会提出議題について協議。

5.27

第1回理事会を市役所常任委員会室で開催。

齋藤会長、岡副会長からそれぞれ挨拶があり、報告に併せて市教委専任体育課長に4月1日付発令された吉岡弘氏から挨拶の後、新年度課員構成と事務分掌、事業内容、市民体育祭開催案について説明し次のことを報告。

- ◎昭和46年度松江体協、並びに加盟団体の事業報告、決算については議案プリントの通り加盟団体から報告をうけているが、体協本部費については特別会員会費の納入を待って収支決算書を作製し監事の監査を受けて会報に登載報告する。
- ◎市立青年センター使用料については、社会教育課長と体育課長で協議した結果、6月1日より松江体協加盟団体が使用する場合は体育課長の承認があれば部屋代は無料、光熱費は規定使用料の二割を徴収する。(例えば研修室を夜間使用の場合、700円×2割＝140円、松江体協直接使用の場合は無料)。市設体育施設の使用料については、体育課長の承認ある場合は無料。
- ◎松江体協並びに加盟団体の行なう事業については年度分を一括して市教委と共催の決裁をうける。
- ◎市からの交付金については昨年は4・4半期に分けて交付されたため遅れがちだったが、今年度は前期後期に分けて松江体協が一括交付を受けておき、加盟団体から行事終了後、報告書(形式は別途示す)提出ありしだい直ちに交付金を交付することに市の了承を得ている。

議 題

◎昭和47年度松江体育協会事業計画、予算について

●新種目の加盟育成

松江ライフル射撃協会(会長渡部熊夫、事務局朝日町 岩瀬敏方 役員を除く会員64人)の新加盟を承認。

松江フォークダンス協会(会長金津昇一、幹事ひまわり育児園安喰公美)や、ボート(目下協会設立準備中)、新分野としてのオリエンテーリングやボウリングなどを合せて1年間育成をはかることとし32,000円の新種目育成費を計上する。

- 46年度特別会員99名の内、加盟団体が直接獲得した68名に対し、1人当たり1,000円の割で68,000円を47年度予算の補助金交付額算定の際に加味する。
- 47年度特別会員は加盟団体事業補助金配分10,000円あたり、1人の割で獲得することとし(上廻ることがのぞましい)前年どおり会員1人につき1,000円の割で160,000円を育成費として加盟団体に還元するよう計上する。
- 強化費は各種目に共通する(例えば冬季合同トレーニング)強化事業費として150,000円とそのほかに特別強化費100,000円を合せて250,000円を計上する。各種目別団体への交付金並びに特別強化費100,000円の使途については国体選手強化費と幼小中学生を対象としてのスクール開設(会費を徴収して希望者を加入させた場合など)には使用しないことに申し合せた。

加盟団体事業補助費の配分については46年度の実績(報告書並びに行事視察による実態把握)を考慮し、常務理事会で検討の上、作製した配分案を示し、次のとおり決定承認さる。なお本年度から、A、B、C、Dのクラス認定は廃止することとした。

(千円単位)陸上100、卓球100、バレー100、サッカー100、水泳90、剣道80、野球80、柔道70、軟庭70、相撲70、スキー60、弓道60、ローンテニス50、ヨット50、

サイクリング50、洋弓50、バスケット50、ソフトボール50、体操40、射撃40、ハンドボール30、自転車20、山岳20、バドミントン20、教職員30、中体連30、小体連30、職域連30、地域連30、スポーツ少年団50、計30部門 1,650千円、(予算書別掲)

◎役員 の 辞任 に 伴 う 補 充 並 び に 事 務 局 機 構 に つ い て (() 内 は 後 任)

理事、常務理事辞任に伴う補充人事については、加盟団体から届出のあったとおり。永井康隆(須山春雄)大賀美英利(青戸常磐)上田節夫(勝部嘉己)池田幹(高尾邦雄)松浦駿二(天津八紘)を理事に補充、常務理事は互選の結果、従来の12人を13人にふやし、新たに勝部嘉己、高尾邦雄、菊池良兵が新任された。なお和田理事長から一身上の都合で理事長を辞して事務局員として専念したいとの申出は承認されず、応3月末までの任期を勤めることとなった。なお吉岡体育課長は常務理事兼事務局長に選任された。前事務局長河原薫社会教育課長から挨拶。

◎会報第2号発刊について

前年度報告、47年度事業計画、予算、新年度役員その他を登載する第2号会報をなるべく早く発刊したいので、加盟団体には3月に提出を求めているが未提出の団体は至急提出のこと。

◎表彰について

●46年度中の競技成績を考慮し各加盟団体から推薦を求め優秀なスポーツマンを表彰する。表彰者の選考並びに表彰方法などについては常務理事会に委任。

●47年度各種大会の表彰に使う賞状、バッジを共同印刷、共同製作することとし、実費で頒布する。

◎特別会員について

●46年度会員に対し、体協バッジを製作したので交付する。

●47年度会員募集は、前年通りの内容で募集

する。各加盟団体の責任数は事業費交付額1万円に対し、1人の割とする。

◎松江体育協会創立50年記念事業について

松江体協が大正13年に創立されてから昭和48年は丁度50年目に相当する。よって記念事業を行うこととし、具体案は改めて検討することとした。

6.30

第2回常務理事会を午後2時から青年センターで開催。

◎昭和46年度功績表彰者選考並びに表彰について

加盟団体から推薦のあった4氏の表彰を決定、若干推薦手続きの遅れている団体もあるので連絡の上、追加することで理事長に一任されたが、その後の決定されたもの、また46年度表彰とは別個で表彰されたものがあるので併せて別掲する。

◎常務理事の専門委員会所属並びに正副委員長の互選について

理事会において補選が行なわれた結果1名増員。13名の常務理事のうち、吉岡弘事務局長は無任所とし、その他12名を6つの専門委員会正副委員長に互選した。別掲役員表のとおり。

◎昭和47年度活動目標について

次のとおり目標を設定、所属理事を含めての専門委員会で計画案をねり推進をはかることとした。

☐総務委員会

●組織づくり……旧市4地区をモデル地区に指定し、またブロック別にも推進会議をもつ予算はモデル地区 5,000円×4ブロック別推進会議10,000円

●職域部……職場体育連絡協議会結成費10,000円、行事費20,000円

●新種目育成……松江ライフル射撃協会12,000円、その他 5,000円×4種目。

●市民体育祭……全般の盛上げ、種目ごとの運営協力に総力を結集する。関連して事務

局長から発言要請があり次のことを体協として各加盟団体とともに今後留意していくこととした。

青年団活動を通じての体育の育成

観衆動員のPR、開・閉会式への努力

- ◎表彰……46年度功績者表彰は体協として岸記念賞（賞状）と3,000円見当のトロフィーを贈る。年間共通使用の賞状（チーム用、個人用2種類）バッジ（1位と2・3位用2種類）を共同注文し、各加盟団体は実費を支払う。
- ◎役員委嘱……現在委嘱してある役員の任期は2ヵ年の内残りが今年度一杯あるが年度替りで加盟団体で変更したのもあるので各委員会の報告をとりまとめ、新役員一覧表を添えて委嘱状を発送する。

◎競技委員会

- ◎合同トレーニング……冬季に各団体共通の国体年代を考慮しての基礎体力養成の事業を実施する。予算150,000円
- ◎スポーツ相談室〔健康診断、体力測定、運動能力測定、診断と処方等〕その他の普及、強化事業を含めて100,000円の予算で実施する。事務局長の意見で普及、強化のためにも各部の代表選手が上部大会に出場する場合、松江体協の団体名を用いるようにしてもらいたいとのことで全員賛成。
- ◎県体協委託事業……水泳スポーツ教室開設（水泳連盟で実施してもらう）5コース6万円×5コース（内県体協補助36,000円×5）スポーツ相談室開設21,100円（内県体協補助14,470円）大庭体協に指定

- ◎スポーツ指導員養成

◎国体委員会

- ◎54年島根国体誘致問題と松江市の立場

◎施設委員会

- ◎松江市体育施設の実態調査
- ◎既設施設、設備の活用
- ◎新しい施設づくり、夜間照明、総合グラウンド造成途中の敷地活用

◎財務委員会

- ◎特別会員募集……加盟団体は市からの補助金10,000円に対し、1人の割合を最低限度として一般から勧誘する。

市会議員とスポーツ振興審議会委員は本部扱とする。前年度会員に贈るバッジが出来上ったので配布する。

- ◎市補助金……前期、後期の2期に分けて市から体協へ一括交付を受け、加盟団体から行事終了の手續（所定の）あれば即時交付する。前期分100万円は6月末市から受領、第2期については実績により必要となった場合に交付を受ける。

◎広報委員会

- ◎会報第2号発行……前年度事業報告、新年度事業予定、予算、役員など登載する。
- ◎備品として記録撮影のため写真機を約3万円で購入する。

8.6

午後6時から白濁小学校会議室において常務理事会を開催。島根国体誘致と主会場問題について協議、54年国体開催地が7月29日九州、四国、中国合同西部ブロック県体協会長会議で宮崎県に内定したこと。さらに県議会国体誘致調査特別委員会が8月1日に主会場出雲市優位の報告書をまとめたとの報道が伝わり、本県スポーツ界のため、まことに憂慮すべき情勢となってきたことに関して協議したが、松江市としての主会場問題に関する態度は、さきに県知事の要請に答えた松江市長の説明どおり。主会場争いとみられるあらゆる運動を即時停止しているの、出雲市がどのような動きをしようとも静観することとした。国体誘致に関しては県体協を激励し次の57年を目指して強く働きかけることとした。

9.20

午後3時から市立青年センターにおいて、加盟団体理事長会議を開催。

- ◎第7回松江市民体育祭（第2部）協力方について

大会を盛り上げるため開会式の入場行進には各加盟団体は意匠を考えてプラカードを作製、10名ぐらいつつ参加することとなった。

◎加盟団体に対する補助金の交付手続きについて

前期分の枠を市から交付を受けているので、既に事業の終了した加盟団体に対して速かに交付したい。手続きは事務局へたずねること。

12. 12

午後5時30分から青年センターで、第2回理事会を開催。

出席者、曾田副会長、和田理事長、以下常務理事梶谷、矢田、浦川、織奥、森、吉野、高尾、勝部、菊池、以下理事（代理出席並びに常務理事の所属を含む）卓球、サッカー、バレー、剣道、水泳、野球、スキー、相撲、柔道、軟庭、ローンテニス、バスケット、サイクリング、弓道、体操、ヨット、ソフト、アーチェリー、射撃、自転車、中体連、地域体、職域連、スポ少、オリエンテーリング、エアライフル、山岳以上27種目

1. 開会の挨拶……理事長、体育課長事務局長
2. 議長選出……浦川侃氏指名さる。
3. 会務報告……会報前掲のものは略

◎県体協委託事業水泳教室5コース終了。

古江地区（母親と幼児）。全市小学校上級者。秋鹿地区（PTA）。全市初心者。身障者。

- ソフトボール技術指導講習会。11月26日、県立松江商高、講師広島県ソフトボール協会6名、受講68人

◎新種目育成……松江市オリエンテーリング協会発足（会長玉木建設社長玉木常吉、理事長県警厚生課余村信義）

4. 議 事

◎第1号議案 昭和46年度松江体育協会事業報告並びに決算について

吉野監事の報告あり別掲のとおり承認

◎第2号議案 昭和48年松江体育協会新年賀会開催について

1月15日（成人の日）2時30分より千鳥町レークガーデンにおいて恒例の賀会を催す。行事内容は功労者への祝品贈呈（県及び県以上の機関から体育関係で受彰した方へ）。48年スポーツ振興策協議（加盟団体は要望事項と要旨を文書で1月10日までに提出すること）。祝宴

- 案内状は年内に加盟団体宛に発送する。

◎昭和48年度本会事業費に対する市補助金増額について

創立50年記念事業を併せ増額を要望する。加盟団体長による本会参与会、又必要の場合理事長会を開催したいので種目ごとに腹案を考えておくこと。

◎事務連絡並びに協議事項

- 特別会員とりまとめ

12月25日までのものは会報2号に登載する。

- 会報2号資料とりまとめ

役員の異動届けと47年度事業報告を12月25日までに提出を受け会報第2号を発行、1月15日の新年賀会に配布する。

- 体力テスト実施と地域体協組織づくり

総務委員会地域部所管の既設地域体協育成と未組織地域体協の組織づくり助成事業並びに強化委員会所管の体力テスト普及事業を併せ、モデル地区を制定して推進する。

- 共同製作の賞状、バッジについて

3月末までに必要とする場合は予約申し込みのこと。バッジ銅（銀は品切れ）と賞状チーム用（個人用文案のものは品切れ）は若干手持ちあり。

以上で曾田副会長の挨拶を最後に閉会。

昭和47年度松江体育協会収支予算書

収入の部					
費目	予算額(千円)	説明			
市委託料	2,000	各加盟団体委託料 2,000	事務費	321	47年度特別会員分 1×160人分 46年度同実績分 1×68人分 新種目育成5種目 32 会議費 100 印刷費 50 備品費 50 図書費 20 通信費 30 消耗品費 15 雑費 50 県体協加盟金 6
特別会員会費	480	3×160名分			
雑収入	1	預金利息その他			
合計	2,481				
支出の部					
費目	予算額(千円)	説明			
加盟団体事業補助	1,650	合同トレーニング 150 特別種目 100 加盟団体育成費			
強化費	250				
育成費	260				
合計	2,481		合計		2,481

昭和46年度松江体育協会収支決算書

収入の部						
費目	予算額	決算額	差引残額	説明		
市委託料	1,200,000円	1,200,000円	-円			
特別会員会費	300,000	318,000	18,000		年額 3,000円 × 106名	
雑収入	1,000	304	△ 696			
合計	1,501,000	1,518,304	17,304			
支出の部						
費目	予算額	決算額	差引残額	説明		
各連盟事業補助	1,100,000	1,100,000	-円		別表のとおり	
合同トレーニング	50,000	50,000	-円			
審判講習	50,000	50,000	-円			
育成費	100,000	81,000	△ 19,000		特別会員会費による連盟育成費	
事務費	156,000	173,645	17,645			
	(会議費 100,000)	32,418				
	(印刷費 50,000)	74,700			会報ほか	
	(県体協負担金 6,000)	6,000				
	(備品費 -)	2,100				
	(消耗品費 -)	400				
	(通信費 -)	4,130				
	(慶弔費 -)	197				
	(特別役員バッチ -)	29,900				
	(功労者表彰 -)	23,800				
予備費	45,000		△ 45,000			230円×130人 岸記念賞 6人 会長賞 4人
合計	1,501,000	1,454,645	△ 46,355			

昭和47年度繰越 63,659

昭和46年度松江体協各部事業補助

卓球 80,000	ローンテニス 40,000	射撃 20,000
サッカー 80,000	軟式庭球 50,000	自転車 20,000
バレーボール 80,000	バスケット 20,000	バドミントン 20,000
陸上 80,000	サイクリング 20,000	教職員体育連盟 20,000
剣道 60,000	ハンドボール 10,000	中体連 20,000
水泳 60,000	弓道 30,000	地域部 10,000
野球 70,000	体操 30,000	職域部 10,000
スキ一 50,000	ヨット 30,000	スポーツ少年団 20,000
相撲 50,000	セフト 20,000	小体連 20,000
柔道 50,000	アーチェリー 30,000	合計 29団体 1,100,000円

第7回松江市民体育祭
(少年之部) 成績

※公民館対抗得点に入らない

学童野球

1	位	津田	田庄
2	位	本庭	庄庭
3	位	大朝	日木
〃		乃賀	北賀
5	位	雑城	北津
〃		川法	吉西
〃		城持	田東
〃		城	東

(12チーム)

少年野球(中学)

1	位	雑賀	賀
2	位	津田	田
3	位	朝日	日

3	位	乃木	木
5	位	城東	東
〃		竹矢	矢
〃		城北	北
〃		白本	本
〃		川津	津
〃		持田	田
〃		古江	江
〃		朝酌	酌
〃		法吉	吉

(14チーム)

学童女子ソフトボール

1	位	城東	東
2	位	朝日	日
3	位	津田	田

(3チーム)

少女バレーボール(中学)

1	位	古江	江
2	位	雑賀	賀
3	位	大野	野
〃		本庄	庄
5	位	城東	東
〃		朝日	日
〃		朝酌	酌
〃		城北	北
〃		津田	田

(9チーム)

第7回松江市民体育祭 (第1部・第2部) 総合得点表

種目 地区名	(第2部) 市民体育祭 (陸上) 得点表											(第1部) ソフトボール、バレーボール、卓球、硬球、球技					総合										
	三、〇〇〇M競走	(女)一〇〇M競走	男一、二〇〇M走	男継走	置換継走	(女)一、二〇〇M走	重量運搬継走	玉入れ競争	男一〇〇M競走	おしとどり	(女)一五〇才継走	むかで競走	男三五〇才継走	キックボール継走	混成継走	第二部計	順位	男子	女子	男子+女子	ソフトボール	卓球	バレーボール	卓球3種目合計得点	順位	(第一部) 得点合計	(第二部)
津田	1	1・2	1	7	10	1	7	1	3	7	7	5	10	10	63	7	20	3	20	27	12	27	59	3	122		5
川津	3・4	3・3	7	5	10	5	3	3	5	3	10	3	10	3	77	3	20	4	20	23	14	23	57	4	134		3
本庄	1・3	2・1		7	5	7	5	3・1	3	10	7	7	3	5	70	4	10	5	10	11	10	11	31	17	101		8
大野		1		1			1	3	10	5		1	10	32	15					12			12	20	44		20
持田	1		1	1	1		5		3		3	3	5	23	18	4	5	12	11	10	11	33	15	56		18	
朝酌			1	1		3	3		7		1	3	7	31	16	5	4	12	11	14	11	37	13	68		14	
秋鹿				10	3	3	7			1	5	7	7	37	12	5	5	10	14	14	14	38	11	75		12	
雑賀			7	3	10		1			3		7	5	36	13	5	4	12	30	19	30	61	2	97		10	
法吉			10	5	3	7	10		7		10	7	3	69	5	5	5	10	17	19	17	46	8	115		6	
乃木	1		5	10	3	10	1	1	5	10	10	10	7	83	2	4	5	12	25	10	25	47	7	130		4	
古江			3			7	7		10	1		1	5	35	14	5	5	10	11	10	11	31	17	66		15	
朝日	2・1	2	10	10	7	10	5	2	7	10		10	3	89	1	3	4	17	15	24	15	56	5	145		1	
生馬	1	2・3		7		3		3・3	1	5	1	1	1	31	16	4	5	12	11	10	11	33	15	64		16	
大庭		1	7		7	5			5	7	1	5	5	50	9	5	2	17	19	14	19	50	6	100		9	
白濁			3	3	1		3			3		3	3	16	20	5	5	10	18	12	18	40	9	56		18	
城北	4		3			1		2・1			7		1	19	19	4	5	12	16	10	16	38	11	57		17	
城西			3	5	7			2	10	7	10	3	10	65	6	5	5	10	20	10	20	40	9	105		7	
西部		1		5	5	10			1	5	5	10	42	10	5	3	14	14	11	12	11	37	13	79		11	
総部	2	2	5		1	10		2	1	5	7	3	38	11	5	5	10	10	11	10	11	31	17	69		13	
竹矢		3	10	3	5	1	10	1・2	1	3	5	5	7	56	8	1	1	40	24	24	21	85	1	141		2	
城東																											

市民体育祭少年の部も開催

多彩な入場行進に沸く

—— 輝やく総合優勝旗は朝日地区へ ——

—— 第1部は城東・第2部は朝日地区制覇 ——



第2部 陸上競技入場式

松江市民体育祭も昭和47年度で早くも第7回目を迎えたが、全市民総体育をめざす松江体協では、1人でも多くの参加をとのねがいから、昨年度からの2部制に加えるに更に少年の部を新設し、種目と参加層をひろげる一方、悼尾を飾る体育の日の第2部開会式には、これまで公民館選手団のみの入場行進だったのに加え、初めて松江体協各加盟団体の入場行進を行なった。



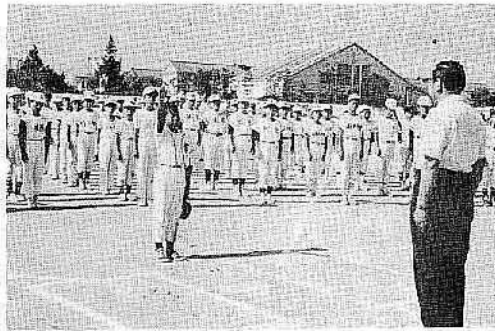
相撲連盟入場行進

即ち各種目ごとに工夫をこらしたプラカードと競技カラーユニフォーム姿でトラックを一周して市民の歓呼をあびれば、この日結団

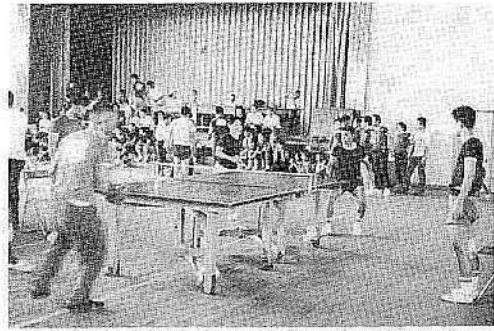
式を終わったばかりの鹿児島秋季国体の島根県選手団が国体そのままの堂々の入場行進を行ないスタンド一杯の7,000名の市民から一せいの拍手と激励を受けた。

かくて次ぎ次ぎに展開する競技の合間には体協事務局（市教委体育課）の吉岡事務局長以下による体育祭号外の編集、配布が行なわれるなど、新しい趣向を織り込んでの市民体育祭は、これまでに見られなかった大きな盛り上りのうちに無事終了したのだった。

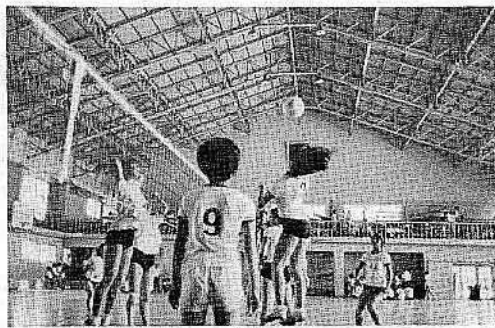
少年の部並びに公民館対抗得点争いの第1部、第2部と総合成績は別表の通りであるが第1部で目覚ましい活躍振りを見せて他を大きくリードしていた城東は、第2部で朝日の猛追撃にあい、最後まではげしい順位争いを演じたが、ついに第2部は朝日の優勝ときまり、朝日はこの大活躍により栄ある総合優勝をも成しとげる結果となり、松江市長優勝旗を獲得するところになった。



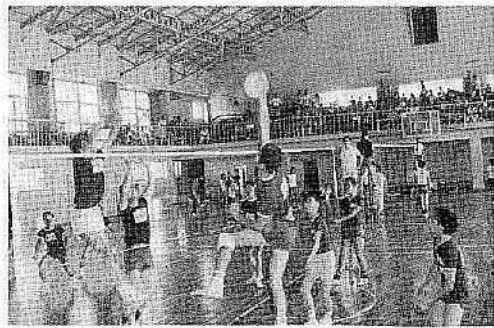
少年野球開会式



第1部 卓球大会



少女バレーボール大会



第1部 男子バレーボール大会

昭和47年度松江体育協会行事報告

⊕は主催 ⊕は共催 ⊕は後援の略

卓球

- 4・25～6・15 岸卓球場
 ⊕ 全国都市対抗松江代表強化合同練習
 4・29 市立体育館
 ⊕ 第7回市長杯争奪卓球大会
 5・21 市立体育館
 ⊕ 第3回松江市卓球連盟会長杯争奪職域
 対抗卓球大会 19チーム 100名
 6・17～18 市立体育館
 主管 第26回全国都市対抗卓球中国地区予
 選、第24回中国卓球選手権大会
 11・5 市立体育館
 ⊕ 松江市民レクリエーション卓球大会
 300名

相撲

- 7・1 末次公園特設相撲場

- ⊕ 宍道湖大橋開通記念松江水郷祭協賛
 納涼相撲大会 150名
 8・18 熊野神社(本庄)
 ⊕ 第2回松江市嵩ブロック少年相撲大会
 60名

弓道

- ⊕ 4月～3月 月例会
 寒稽古納・土曜稽古納
 4・29 県立武道館
 ⊕ 松江市弓道大会 高校男子84名 一般
 ・高校女子69名 一般男子96名
 8・21～26 県立武道館
 ⊕ 夏期初心者弓道講習会 36名
 11・2～5 島大第一体育館
 ⊕ 第18回中四国学生弓道選手権大会
 男子13校 女子17校
 11・3 県立武道館弓道場

主管 松江市武道大会(弓道之部)
一般男(3段以下)、一般女、高男、高女小的

サッカー

- 4・15~16 松江工業高
⑤、松江地区春季サッカー大会
中学生、100名
- 5・6~7 島根大学
⑤、松江地区少年サッカー交歓会
小学生、280名
- 5・6~7 松江二中
⑤、松江地区春季サッカー大会
中学生、100名
- 6・18~7・9 島根大学 松江高専
⑤、松江地区春季サッカー大会
社会人、198名
- 7・9~10・15 松江一・二・三中
◎ 松江ユースサッカーリーグ
中学生、80名
- 8・7~14 島根大学
⑤、日立サッカースクール、小学生 140名
- 9・16~10・8 城北、乃木小学校、島大
◎ 松江少年サッカー交歓リーグ
小学生、160名
- 9・17~11・26 松江高専
⑤、松江地区秋季サッカー大会
社会人、200名
- 10・7~8 松江商業高
⑤、松江地区秋季サッカー大会
高校生、80名
- 11・21~22 附属中学校
⑤、松江地区秋季サッカー大会
中学生、100名
- 2 白潟小
⑤、サッカートレーニングセンター
小・中学生、170名
- 3・25 附属小・中学校
⑤、サッカー教室、小・中・一般、200名
- 4~3 島根大学
⑤、サッカースクール、小学生、150名

中体連

- 6・20~21
⑤、第6回松江市中学校総合体育大会兼県
総体松江市予選 総員、930名
剣道大会、県立武道館、65名
柔道大会 // 50名
体操競技大会、四中 95名
卓球大会、大庭中 120名
庭球大会 楽山 120名
野球大会、市球場 45名
バレーボール大会、附属・二中 180名
サッカー大会、附属中・90名
バスケットボール大会、一・三・四中
165名
- 6・28 市競技場
⑤、放陸・県陸松江市予選記録会 300名
7・中・下旬
⑤、体操・庭球・バスケット・バレー・サ
ッカー・卓球・陸上・剣道・柔道・県
総体
松江市代表強化練習会、500名
- 9・28 市競技場
⑤、第23回松江市中学校陸上競技大会
600名、市内全中学生応援参加
- 11・5~6 三中
⑤、第21回松江市中学校新人卓球大会
120名
- 11・5~6 二・附中
⑤、第19回松江市中学校新人バレーボール
大会 170名
- 11・7~8 楽山コート
⑤、第19回松江市中学校新人庭球大会
120名
- 11・9 市球場
⑤、第16回松江市中学校新人野球大会
45名
- 11・21~21 附中
⑤、第12回松江市中学校新人サッカー大会
90名
- 11・21~22 二・四中
⑤、第9回松江市中学校バスケットボール

大会

180名

⊕ 枕木山山びらき祈願祭

小体連

- 5・23 松江陸上競技場
第25回松江市小学校連合体育大会
- 8・10 朝日小学校プール
第8回松江市小学校水泳競技大会 14校
- 10・3～4 付属・母衣・朝日・城北
第6回松江市小学校サッカー大会
- 12・6～9・11～12 白濁・津田・母衣・乃木
第23回松江市小学校バスケットボール大会
男12校 女12校

野球

- 5・11～14 市球場
⊕、松江職域対抗軟式野球大会兼高松宮賜杯野球松江予選大会 15チーム
- 7・26～27 松江球場
⊕、第54回全国高校野球島根県予選 8校
- 7・30 三中
⊕、松江市野球審判技術講習会 15人
- 8・5～6
⊕、第20回政府管掌健康保険軟式野球中国大会
- 8・27～28 松江野球場・北高グラウンド
主管 第3回島根県少年野球(学童の部)大会 16チーム
- 9・9～10 松江野球場
主管、第27回国体軟式野球(準硬式)中国ブロック予選
- 9・14～16 市球場
⊕、秋季松江市職域対抗軟式野球大会兼中国五県軟式野球大会松江予選大会
12チーム

自転車

- 7・2～9～16～23
島根県ロードレース選手強化練習並びに講習会 18名

山岳

- 4・28 枕木山頂

サイクリング

- 5・7 市役所前より健脚コースは玉造・莊原・浜佐陀、松江市役所の50km
一般コースは東長江、金剛寺、朝日山市役所前の18km
⊕、第11回松江市民サイクリング大会
- 11・5 松江市役所→熊野神社
⊕、第12回松江市民サイクリング大会 156名
- 4・9～9・24
⊕、おはよう市民サイクリング
楽山公園、緑山公園、山陰中央テレビ、満願寺、比津ゴルフ場、枕木山比津ゴルフ場、八重垣神社、宍北台団地、松江城堀一周、運動公園見学、天輪寺、松江Y・H見学、長江千拓、熊井の滝、神魂神社、楽山公園、比津ゴルフ場、千本貯水池、風土記の丘、堀川一周のコースにより総人数3552名
- 7・2
⊕、協会員クラブラン中海一周 33名
- 8・4
⊕、協会員クラブラン宍道湖一周 25名
- 8・13 日御碕往復
⊕、協会員クラブラン兼リーダー研修 32名
- 8・5 京都
⊕、サイクリング全国大会 8名
- 8・20 出雲大社
西日本サイクリング大会調査、クラブラン 32名

陸上

- 5・19～21 松江陸上競技場
主管、第56回全山陰陸上競技大会 1,450名
- 6・4 松江市役所前より湖北道路
⊕、第3回松江体力つくり走ろう大会
- 7・30～8・27毎日曜日 湖北道路
⊕、松江市早朝鍛練走ろう会

- 10・29 松江市役所前より湖北道路
 ⑤ 第4回松江体力つくり走ろう大会 40名
- 11・3 松江マラソンコース
 第18回松江市駅伝競走大会 15チーム
 第8回松江市ロードレース大会 13名
- 12・3 松江市役所前より湖北道路
 ⑤ 第1回松江職域対抗駅伝競走大会
 12チーム
- 1・1 市役所←→湖北
 ⑤ 第1回松江元旦マラソン大会 45名

ソフトボール

- 4・16 家政高校
 改正ルール研修会
- 4・23 母衣小
 ⑤ 県一般男・一般女ソフトボール大会
- 5・21 母衣小
 ⑤ 第2回松江市ソフトボール選手権大会
 12チーム
- 5・27～28
 ⑤ 第21回中国高校女子ソフトボール選手権大会 16チーム
- 10・22 一中・母衣小
 ⑤ 島根県ソフトボール一般男子選手権大会
- 11・19 松江商業高
 ⑤ 第2回松江市一般女子・高校女子ソフトボール選手権大会 3チーム
- 11・26 松江商業高
 ⑤ ソフトボール技術指導講習会 68名

剣道

- 6・25 県武道館
 ⑤ 第8回松江地区青少年剣道大会
- 11・3 県立武道館剣道場
 主管 松江市武道大会(剣道の部)
 高校・中学・小学校の団体・個人

アーチェリー

- 6・4
 ⑤ 第2回協会春季大会 35名
- 7・28～30
 ⑤ 中・四国指導者講習会 4名

- 9・10
 ⑤ 県大会 41名
- 10・22 城山旧図書館跡
 ⑤ 第2回協会秋季大会 32名
- 毎月
 ⑤ 松江協会加盟各団体月例会
 ⑤ 松江アーチェリークラブ部会活動(広報・企画・総務・研究・競技・管理の各部)

ローンテニス

- 3・26 楽山コート
 ⑤ 春季市民庭球大会 一般11名 学生7名
- 8・13 楽山コート
 ⑤ 夏季市民庭球大会 一般10名 学生20名
 ※学生は中学・高校を含む
- 11・11～18～19 楽山コート
 ⑤ 原田杯争奪ジュニア大会、高校40名
 大学20名

バスケット

- 5・5 松江一中
 ⑤ 少年・少女バスケットボール教室開校
 小学生男女 80名
- 5・28 松江四中
 ⑤ 市職場対抗バスケット春季大会
 一般男 100名
- 11・11 白濁小学校
 小学校指導者技術及審判講習会
 教員 30名
- 11・11～12 白濁・乃木・津田小学校
 小学校バスケットボール大会
 小学校男女 300名
- 11・18 松江二・四中
 11・19 松江工高
 ⑤ 市職場対抗バスケット秋季大会
 一般男 150名
- 12・6～9 白濁・母衣・内中原小学校
 ⑤ 小学校バスケットボール大会
 小学生 400名
- 12・27 松江工高
 ⑤ 中学校一年生大会 150名

㊥ 中学校二年生選抜南北大会 30名

未定㊥ 中学校技術及審判講習会 教員 30名

3・末 静岡

㊥ 小年・少女バスケット教室全国交歓大会小学生 25名 引卒 5名

3・末

㊥ 協会理事総会 30名

スキー

1・27 大山

㊥ 指導者講習会 SAS1級以上 45名

2・3～4 大山

㊥ 松江市民一泊スキー講習会

一般男・一般女・学生 120名

2・25 大山

㊥ 松江市民スキー競技大会

一般男・一般女・小中学生 150名

1・15・21・28 2・11・18 大山

㊥ 日曜スキー講習会

一般及び小中高学生 100名

ハンドボール

6・25 松江工業高

㊥ 春季ハンドボール大会

男子4チーム・女子4チーム

8・26～27 松江農林高校グラウンド

㊥ 第27回国体ハンドボール中国予選

20チーム

10・1 松江工業高

㊥ 松江市ハンドボール秋季大会 3チーム

ライフル射撃

8・20 県ライフル射撃場

㊥ 空気銃大会

水泳

7・27 島根大学

㊥ 第2回出雲地区年令別選手権水泳競技大会

8・24 松江工業高

㊥ 第10回松江市民水泳競技大会

8・30 雑賀小

㊥ 第5回松江市小・中学校新人選手権水泳競技大会

7月～8月 古江中・島大プール

㊥ 県体協委託、スポーツ教室五コース

ヨット

8・27～28 玉湯町国際ホテル沖合

㊥ 第6回宍道湖ヨット競技大会 90名

バドミントン

9・2～3 松江農林高校体育館

主管 国体中国地区予選兼第15回中国バドミントン選手権大会

3月 松江市バドミントン選手権大会

バレーボール

6・25 白潟小・二中

㊥ 第3回松江職域対抗バレーボール大会
男子14チーム・女子6チーム

柔道

11・3 県立武道館柔道場

主管 松江市武道大会(柔道の部)

一般・高校・中学校・小学校の部

射撃

6・18

㊥ 松江地区射撃大会 215名

オリエンテーリング

11・7 市立青年センター

松江市オリエンテーリング協会設立総会を開き、規約、役員 第一回大会の開催を決定

11・23 四中↔南方緑山公園一帯

松江市オリエンテーリング協会創立記念
松江市オリエンテーリング大会

80組 259人

軟式庭球

4・23 城山

- ⊕ 松江市春季職域大会
学生12名 一般48名
- 5・3 楽山
⊕ 松江市民春季庭球大会
学生108名 一般82名
- 5・21 城山
⊕ 松江市職域・クラブ団体対抗大会
学生18名 一般54名
- 5・28 島大
⊕ 第26回全国都市対抗軟式庭球中国予選
- 7・9 城山
⊕ 第12回全山陰OB大会 60名
- 7・30 城山
⊕ 三市親善庭球大会(倉敷・福山・松江)
64名
- 8・6 楽山
⊕ 松江市民夏季庭球大会
学生48名 一般40名
- 8・20 楽山
⊕ 松江市高校選手権大会 98名
- 9・15 楽山
⊕ 岸杯庭球大会 学生66名一般24名
- 10・15 城山
⊕ 松江市秋季職域大会 48名
- 11・3 楽山
⊕ 松江市民秋季庭球大会
学生80名 一般44名
- 11・10 楽山
⊕ 第4回出雲地区中学校新人庭球大会
男13校・女11校

スポーツ少年団

- 4・17
県スポーツ少年団本部長より表彰される
優良団…津田剣道スポーツ少年団
優良指導者…入沢和一(白濁剣道)
- 5・16～19
日本スポーツ少年団本部主催、中央指導者
研修会(東京)に入沢和一派遣
- 6・5

団勢調査集計発表

7・25～30

第10回全国スポーツ少年団大会(東京)に
全県から男17人、女13人の引卒者として、仙
田晴久(川津)、福井博野(川津)、リーダ
ー原 勇、山根 朗(共に猶興)を派遣

8・8～10

第3回中国ブロック・スポーツ少年団リー
ダー大会(山口)に県から39名参加、松江
市から白濁剣道の入沢美引他2名、朝日剣
道から梅津正美他1名の計5名を派遣

8・31

雑賀第6ブロックスポーツ少年団新加盟39
団となる(代表指導者、神田繁吉)

9・3

松江市スポーツ少年団創立10年記念大会を
開催、市役所南広場に、県本部長の藤原教
育長、斎藤松江市長ほかの来賓を迎え式典
挙行、市中行進して松江競技場に至り、全
員スポーツテストを実施、参加者319名

9・15

竹矢・大庭・忌部交歓剣道大会を竹矢小で
開催

1月～2月

冬季スポーツ交歓会を全市五ブロックに分
けて開催する予定

地域部

1月～2月

全市五ブロック別に公民館、体育指導委員
との合同研修会を開催する予定
公民館単位の体協組織の確立を協議、モデ
ル地区を設定して推進

職域部

1月中に

松江市職場体育連盟(仮称)の役員構成を
成立させ、連盟結成職場体育の振興をはか
る予定

昭和46・47年度松江体育協会役員

(48年1月現在)

役職名	氏名
会長	齋藤 強
副会長	門脇 憲次郎 曾田 堯 藤井 忠孝 松尾 巖 岡 磯吉
顧問	伊達 慎一郎 石倉 俊寛 野々村 延 秋本 盛一 川井 利助 与倉 潔美 又賀 清一 藤原 恭一 岡田 善富 西田 正四郎 片山 義雄 古満 友次郎 森本 正紀 吉岡 年春 渡部 熊夫 久保 田洋三 早田 伊勢松 伊原 周造 石飛 三郎 瀬尾 正三 佐野 広
参与	松本 尊行 森政 貞人 伊原 光一 小川 宏 森 秋重 浜田 正矩 吉岡 正吉 浦川 侃 鐘築 孝男 柳 弘義 早田 伊勢松 鈴木 繁徳 原 立市 森江 文吉 玉木 常吉夫 渡部 熊夫 佐藤 俊男 福島 益太郎 金山 千 浅野 俊夫 新宮 忠雄 岩田 篤明 須田 豊三郎 門脇 憲次郎 柿田 芳夫 古川 重三郎
理事長	和田 正則
常務理事	◎和田 忠義 (総務) ○梶谷 節夫 (総務) ◎原 武久 (財務) ○矢田 登志豊 (財務) ◎浦川 侃 (競技) ○織奥 信男 (競技) ◎森 秋重 (施設) ○中島 武夫 (施設) ◎吉野 晴雄 (国体) ○勝部 嘉巳 (国体) ◎菊地 良兵 (広報) ○高尾 邦雄 (広報) 吉岡 弘 (無任所) ◎は委員長 ○は副委員長 ()内は専門委員会
理事	原田 雅生 柳原 弘義 宮本 和男 吉岡 貞徳 須山 春雄 平野 一郎 柿田 芳夫 穴戸 稔 天津 八紘 皆美 青戸 常盤 裏辻 政博 沢野 智夫 石原 幸雄 熊谷 琢朗 荒木 英昭 矢野 時夫 須田 正夫 高尾 繁国 井戸内 正徳 小玉 耕平 余村 信義 三島 幸雄 伊藤 律夫 河原 彦三 山久 瀬茂 若瀬 敏 ()内は専門委員会
監事	吉野 安久 宅和 定雄
事務局長	吉岡 弘

種 目 別 役 員

部 名	部 長 (○) ・ 委 員 名
陸上競技	○後藤 定義 伊藤 順朗 山崎 忠志 勝部 行正 谷口 安弘 熊谷 琢朗 原 陽堅 足立 淑世 千原 正男 松本 正 吉野 安久 伊藤 操 青戸 純夫 清水 愿二 小西 益之 門脇 弘晃 長野 征三 矢野 秀治 佐次 智程
卓球	○奥 守夫 加藤 正也 細田 俊次 出川 忠教 岸 明弘 坂田 年 玉木 敏夫 矢田 登志豊 三島 堅 藤原 武治
バレー	○吉野 晴雄 諏訪部 芳美 狩野 真 福井 勝美 仁井 良治 和田 敏文 金崎 利治
サッカー	○上田 節夫 小玉 耕平 長岡 誠 松浦 嘉昭 宍道 泰玄 鞍口 昭二 三成 重明 大内 紀夫 石井 美巳 安部 道夫
剣道	○松本 清 浦川 侃 村上 茂 岡田 安夫 入沢 和一 北野 慶繁 門脇 利尹

部 名	部 長 (○) ・ 委 員 名								
水 泳	○梶谷 節夫 規家 文雄 須山 治彦	渡部 憲生 中島 榮喜 菅井 良	佐藤 幸一 古浦 勝巳 林 惺志	野島 格巳 門脇 節郎	田村 都夫 吹田 邦夫				
柔 道	○高尾 邦雄	田中 義祐	長谷川 正雄	門脇 寧雄	多々納 崇				
軟 式 庭 球	○穴戸 稔 多久和智康	中島 武茂 小川 幸光	森 二郎 泉 亘	成相 久 塚田 敏明	朝元 知治 漆谷 育也				
相 撲	○木村 勇 古藤 正三	野津佳都美 高木 守正	武藤 貞二 佐藤 正	藤原 正 石橋 忠男	田村 一朗 加原 保則				
ス キ ー	○佐草 幹夫 山代 修 池田 雄晃	三島 行雄 山本 正博 日野 和雄	石川 博 清水 愿二 矢野 秀治	領家 康明 恩田 三知啓	小川 浩平 荒木 英昭				
ロ ー ン テ ニ ス ヨ ッ ト	○新宮 忠雄 ○幸野 孝治 山本 英二	松浦 敬三 菊池 良兵 内田 正夫	島田 和明 渡部 次洋 森山 利通	天津 八紘 長見 克二 原田 紀子	寺本 洋一 勝部 八郎 永瀬 泰子				
ア ー チ ョ リ ー	○永岡 章典	松田 健嗣	後藤 毅	熊野 節雄					
自 転 車 競 技	○須田 正夫 来海 昭夫	岸本 武男 菊谷 栄吉	原 芳崇 引野 茂	野津 米藏 大久保春弥	伊藤 薫				
サイ ク リ ン グ	○須田 正夫 来海 昭夫	伊藤 薫 長谷川伊平	西山 慶一 大久保春弥	岸本 武男 足立 一郎	菊谷 栄吉 大谷 恭一				
山 岳	○小川 浩平 三好 寅稔	村田 行彦	仲田 義夫	本田 坦	岡本 文雄				
野 球	○宅和 定雄 速藤 一郎	松尾 司	尾原 薫	玉木 義明	尾原 徳光				
弓 道	○松本 尊行 松田 俊雄	原田 雅生 永瀬 稔	高井義三郎 熊野 文三	安達 広悦 米本 兆民	松野永三郎 渡利 洋一				
射 撃	○安達 正幸 岡本 稔	和田 総一 裏辻 恭一	岩瀬 敏 池上 成則	岩佐 光義	大塚 博康				
ソ フ ト ボ ー ル	○今林 治 河野 英二	新宮 忠次 引野 忠	矢野 時夫 佃 孝	作野 茂 長島 徳夫	加藤 保徳				
体 操	○柳原 弘義 園山 哲也	松本 敏雄 岡坂 晴朗	永井 康隆 原 洋二	官脇 幸雄 妹尾あさ子	渡辺 悦男				
バ ス ケ ッ ト	○須田 豊三郎 前田 喬 田中 瑞夫	葛尾 信弘 山崎 恒雄 吉岡 正夫	福田 弥彦 岩崎 英人 小西和夫	伊藤 律夫 石原 辰三	門脇 秀雄 高木 俊行				
中 学 校 体 育 部	○早田伊勢松 野津 雅雄 石原 正巳	岩崎 英人 山崎 岩男 野上 好弘	須山 春雄 田中 義祐 永井 康隆	谷口 安弘 林 惺志 小谷 優	石原 辰三 山根 秀夫				
小 学 校 体 育 部	○坂口 昭二 山崎 忠志	瀬崎 寛 伊藤 順朗	空野 和夫 石井 美巳	中島 栄喜 門脇 節郎	高木 俊行				
教 職 員 体 育 連 盟	○平江 一郎								
ス ポ ー ツ 少 年 団	○浦川 侃 後藤 藤吉	久保田 宏 深田 武士	入沢 和一 高階 等	西代 一利 中島 功	高橋 幸男 三上 好美				
ラ イ フ ル	○岩瀬 敏 島田 博史	塩野 治男 古瀬 哲男	伊藤 邦	中島 修司	渡部 博昭				
オ リ エ ン テ ー リ ン グ	○余村 信義 堀尾 昌範	新宮 忠次 渡部 さよ子	犬飼 義秀	黒崎 行雄	桜内 保幹				

昭和47年度松江体育協会特別会員

(47・12. 25現在)

取り扱い団体	口数	特 別 会 員 氏 名
市 議 会 議 員	27	加藤 暁 森 秋重 竹谷 六郎 松浦 巖 福島益太郎 船来 豊 蔭山 徳行 野波 好吉 福島 芳夫 松浦 繁市 岸 広海 野津 嘉重 岩田 篤明 村松益次郎 梶谷 明 久保田延男 森江 文吉 佐川 喜慶 吉岡 正吉 小立 幸雄 須田豊三郎 門脇 喜義 大木 喜義 井戸内 正 岩成 潔 福島 伝重
相 撲	7	門脇憲次郎 井戸内 正 月坂 義明 木村 勇 成相 重夫 平塚 繁義 若林 泰男
アーチェリー	2	小林 哲朗 松江商工会議所
射 撃	4	福田真理夫 (2口) 井上 虎 (2口)
スポーツ少年団	1	森脇武兵衛
自 転 車 競 技	2	県軽自動車商協同組合 (2口)
サイクリング	5	須田 正夫 (5口)
野 球	8	石飛 三郎 福島益太郎 尾原 徳光 景山 一彦 原 武久 原田 慶徳 千葉 英二 古満友次郎
陸 上 競 技	12	秋本 盛一 金山 千 与倉 潔美 船江友太郎 万波 正雄 吉岡 貞徳 會田 堯 和田 忠義 桂 隆義 西山 吉昭 山本 隆志 (2口)
卓 球	10	鐘築 孝男 (3口) 星野 広 梶 仁敏 門脇 等功 秋鹿 富男 門脇 理彌 奥村 武 マルキ運動具店
ス キ ー	6	渡部豊次郎 (2口) 泉 彬 (2口) 柿田 芳夫 (1口) 野津 吉男 (1口)
体 操	3	柳原 弘義 松本 敏雄 妹尾あさ子
サ ッ カ ー	10	細田 重雄 (2口) 松浦 一巖 和田 忠義 妹尾 永司 長岡 弘行 周藤 正巳 小川 将 大内 紀雄 六道 泰玄
剣 道	8	浅野 俊雄 (3口) 神竹 礼士 (3口) 福島益太郎 (2口)
水 泳	6	長谷川 博 尾郷 悟郎 曳野 光悦 幡 公好 森永キャンデストア松江支店 u c c 上島珈琲本社松江支店
ラ イ フ ル	4	渡部 熊夫 岡崎 勲 岩瀬 敏 渡部 博昭
ヨ ッ ト	9	浅野 俊夫 大谷正三郎 大野 俊雄 山本厚太郎 梅木 松子 坂本美津枝 菊池 路子 岡 許夫 小池 昇
合 計	124	口

松江体育協会

会 長	齋 藤 強	(市 役 所 (市長) 24-1111)
副 会 長	門 脇 憲 次 郎	(同 (助役) 24-1111)
同	岡 磯 吉	(市教育委員会(教育長)24-1111)
同	曾 田 堯	(市 長 会 (事務局長) 21-4186)
同	藤 井 忠 孝	(松 江 土 建 協 (社長) 21-3521)
同	松 尾 巖	(生 馬 公 民 館 (館長) 36-8460)
理 事 長	和 田 正 則	(市教委体育課 (講師) 24-1111)
事 務 局 長	吉 岡 弘	(市教委体育課 (課長) 24-1111)
事 務 局	松江市末次町86	松江市教育委員会体育課内 24-1111 (332)